

1 抑揚

<書き下し文・意味>

- (1) **しばすら** 死馬すら且つ之を買ふ、況んや生ける者をや (死んだ馬でさえ買ったのだ、まして生きた馬ならなおさら買うだろう)
- (2) **いはんや** 庸人すら尚ほ之を羞づ、況んや将相に於いてをや (普通の人間でさえ恥ずかしく思う、まして将軍や宰相ならなおさらだ)
- (3) **おいてをや** 犬馬に至るまで尽く然り、而るを況んや人に於いてをや (犬や馬に至るまでみんなそうだ、なのに、まして人間であればなおさらそうだ)
- (4) **かつまなぶ** 聖人の賢を以てすら且つ学ぶ (聖人のようにすぐれていてさえ、なお学ぶのだ)
- (5) **いはんやたかつなをや** 子すら且つ然り、況んや高綱をや (あなたでさえそうだ、まして高綱であればなおさらだ)

<句法解説>

A且B、況C乎は、抑揚の句法。「AすらかつB、いわんやCをや」と読み、「AでさえBだから、ましてCはなおさらだ」と訳す。

A尚B、況C乎は、抑揚の句法。「AすらなほB、いわんやCをや」と読み、「AでさえBだから、ましてCはなおさらだ」と訳す。

而況A乎は、抑揚の句法。「しかるをいわんやAをや」と読み、「ましてAならなおさらだ」と訳す。

以[レ]A且～は、抑揚の句法。「Aをもってすらかつ～」と読み、「Aでさえなおする」と訳す。

A且B、況C乎は、抑揚の句法。「AすらかつB、いわんやCをや」と読み、「AでさえBだから、ましてCはなおさらだ」と訳す。

2 累加

- (6) **わするのみならず** 唯だに帰るを忘るのみならず、以て老を終ふべし (この土地は、ただ都に帰るのを忘れさせるだけでなく、晩年を過ごすのによい)
- (7) **ひとりけんじゃのみ** 独り賢者のみ是の心有るに非ざるなり (ただ賢者にだけこの心があるのではない)
- (8) **あにただに** 豈に惟だに之を怠るのみならんや、又従ひて之を盗む (どうしてただ怠けているだけであろうか、さらに盗みを働いてもいるのだ)
- (9) **かんてうのみならず** 独り漢朝のみならず、今も亦有り (ただ漢王朝の時代だけでなく今の時代もある)
- (10) **えらぶのみにあらず** 独り君の臣を択ぶのみに非ず、臣も亦君を択ぶ (ただ主君が家臣を選ぶだけでなく、家臣のほうでも主君を選ぶのだ)

不[二]唯～[一]は、累加の句法。「ただに～のみならず」と読み、「ただ～だけではない」と訳す。

非[二]独～[一]は、累加の句法。「ひとり～のみにあらず」と読み、「ただ～だけではない」と訳す。

豈惟～は、累加の句法。「あにただに～のみならんや」と読み、「どうしてただ～だけだといのか」と訳す。

不[二]独～[一]は、累加の句法。「ひとり～のみならず」と読み、「ただ～だけではない」と訳す。

非[二]独～[一]は、累加の句法。「ひとり～のみにあらず」と読み、「ただ～だけではない」と訳す。



【アプリ版のご紹介】中高生の漢文

再読文字や二重否定、疑問・反語など、漢文の返り点と句法を収録。
項羽や劉邦を始めとする歴史上の人物や、故事などに関する豆知識も満載！
アプリ版は、軽快なテンポで多数の問題に挑戦できるので、反復学習に最適です。



【他アプリからオマケの一題】

中高生の古文

「つとめて」の意味は？

(A) 翌朝 (B) 年末 (C) 週初め (D) 月末